

# チー ム 音 戸

音 戸 中 学 校 区  
小中一貫教育推進協議会

## 令和4年度 音戸中学校区小中一貫教育について

【目指す児童生徒像】 ふるさとを愛し、自律できる児童生徒の育成

【研究主題】 主体的に学び合う児童生徒の育成

今年度は、「主体的に学び合う児童生徒の育成」を目指した研究を、音戸中学校・音戸小学校・波多見小学校の3校で協力して進めています。

小中一貫教育だより第1号は、音戸小で行われた研究授業についてお伝えいたします。

昨年度から引き続き、タブレットを効果的に使うことで、「思考力・判断力・表現力」の育成をすることを目指しています。音戸小学校では、6月23日（水）に第2学年の生活科と第3学年の総合的な学習の時間の校内研究授業を行い、協議をしました。

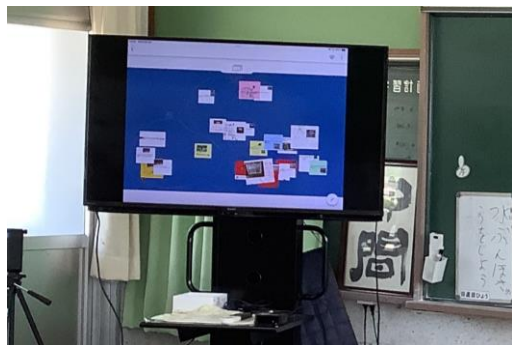
### 2年 生活科 「どきどきわくわく音戸の町たんけん」

2年生の学習では、町探検に行った写真をタブレットで確認をしながら、音戸のクイズを作りました。

メモだけでなく、写真も合わせて振り返りを行うことで、自分が見て聞いてきたことを、より具体的にクイズにすることができました。



### 3年 総合的な学習の時間「大好き音戸のまち！ふるさと音戸の不思議発見！」



3年生の学習では、音戸の地域を歩いて気付いた謎や不思議を2年生と同様に写真に撮って記録しました。そして、その記録した写真と疑問に思ったことを書いたカードを元に、Googleのアプリであるジャムボードを使って整理・分析をしました。実際にリアルタイムで、一斉に整理することができるため、友達の実験にも触れながら自分の考えを確認できるところが良い点です。

今後も、ICTの効果的な活用について研修を行いながら、子どもたちが目標に向かって主体的に学ぶことができるよう授業改善をしていきたいと思っております。